

令和8年2月3日

地方独立行政法人奈良県立病院機構勤怠管理システム開発・構築及び運用・保守にかかる業務に関する質問回答

地方独立行政法人 奈良県立病院機構

No.	該当資料・様式	該当ページ・箇所	質問内容	回答
1	業務仕様書	P.3 3. 非機能要件 (1) 基本性能 ④	下記のデータ連携内容を想定しておりますが、相違がないかご確認をお願いいたします。 In)人事給与ソフト連携（所属コード） In)人事給与ソフト連携（職員コード） In)看護勤務スケジュールソフト（勤務予定・実績データ） Out)勤怠集計データ	お見込みのとおりです。
2	業務仕様書	P.3 3. 非機能要件 (1) 基本性能 ⑤	同時ログイン数に上限を設定しても問題ありませんか。 (負荷軽減目的)	同時ログイン数については、仕様書記載のとおり、上限なしとしてください。
3	業務仕様書	P.3 3. 非機能要件 (2) システム環境 ②	システム利用のためSCVX 側の設定変更が必要となる場合、貴機構側で対応いただける認識でよいでしょうか。	SCVX 側の対応が必要な場合は、勤怠管理システム事業者において必要な費用を見込んだ上で、基幹システムベンダーへ依頼及び調整を行っていただきます。但し、SCVX の仕様上設定変更等で対応できない可能性もあります。
4	業務仕様書	P.4 3. 非機能要件 (2) システム環境 ②	SCVX 経由でダウンロードしたファイルは端末に保存されるのでしょうか。無害化後にファイルサーバへ保存される仕様でしょうか。	SCVX 経由でダウンロードしたファイルは、無害化後に端末に保存されます。但し、SCVX の仕様でファイルの種別によってはダウンロードできない場合があります。

5	業務仕様書	P.4 3. 非機能要件 (2) システム環境 ②	業務端末へアプリをインストールした場合、その端末のみクラウドとの直接通信を許可できますか。  (レコーダ打刻データの吸い上げ、送信や管理ツール利用の為)	業務端末にアプリをインストールした場合であっても、当該端末のみを対象としてクラウドとの直接通信を許可することは、セキュリティ上、許可できません。
6	業務仕様書	P.4 3. 非機能要件 (2) システム環境 ④	「利用者ID 連携」とは社員番号連携のことでしょうか。 また、どのシステム間で連携する認識でしょうか。	「利用者 ID 連携」とは、人事給与システムにおける職員番号等の情報へ連携することを指します。
7	業務仕様書	P.4 3. 非機能要件 (3) セキュリティ要件 ③	対象となる「1 年以上保持するログ」は具体的にどの種類のログでしょうか。  (システム更新ログ、アクセスログ等)	1 年以上保持するログは、システムログとアクセスログを想定しています。このほか、運用保守に必要なまたは有益と考えられるログがあれば提案してください。
8	業務仕様書	P.5 3. 非機能要件 (5) 運用・保守要件 ⑧	リモートメンテナンスのため、院内環境へ接続する仕組みは提供されますか。	リモートメンテナンスにあたっては、現在機構で構築・運用しているリモート接続環境を機構の定める条件・手順に従い利用することは可能です。
9	業務仕様書	P.6 3. 非機能要件 (6) データ移行等	下記のデータ移行範囲を想定しておりますが、相違がないかご確認をお願いいたします。  ・所属マスタ ・職員マスタ ・デイリーデータ ・月次データ ・年休データ ・休暇データ	所属や職員に関するデータについては、人事給与システムより連携する場合があります。  過去の超過勤務時間数や休暇データにつきましては、現行システムより抽出したデータを移行します。

10	業務仕様書	P.6 3. 非機能要件 (7) データ連携	該当システム担当事業者との調整が必要な場合、申し出先（窓口）はどちらでしょうか。	申し出先は奈良県立病院機構法人本部事務局です。法人本部事務局より、該当システム担当事業者を案内いたします。
11	業務仕様書	P.6 4 その他 (1) 操作研修、マニュアル作成 ①	SCVX の操作説明は貴機構側で実施いただけるのでしょうか。	SCVX に関する操作説明はすでに機構内で実施済みのため、勤怠管理システムの導入に際し、特段対応する予定はございません。また、勤怠管理システムの開発業者側に説明の実施を求めることはいたしません。
12	業務仕様書	P.6 4 その他 (1) 操作研修、マニュアル作成 ②	操作マニュアルの対象にSCVX 操作も含まれますか。	操作マニュアルの対象に SCVX の操作は含まれません。
13	仕様書別紙 1	勤怠管理システム・人事給与システムのデータ連携	病院機構様内の人事給与システムを利用可能な端末から、病院機構様のデータ連携用仮想サーバに対してファイルの読み書きが可能である、という当方の認識に相違がないかご確認をお願いいたします。	仕様書別紙 1 イメージ図に記載のとおり、機構内の人事給与システム利用端末から、機構内のデータ連携用仮想サーバに対しての直接通信は想定しておりません。 なお、仕様書別紙 1 については、令和 8 年 1 月 30 日付で内容を修正の上、ホームページに掲載していますので、併せてご確認ください。
14	仕様書別紙 1		提示されたネットワーク構成は必ずその通りである必要がありますか。	ネットワーク構成については、仕様書別紙 1 イメージ図のとおり、記載の構成を前提としてください。 なお、仕様書別紙 1 については、令和 8 年 1 月 30 日付で内容を修正の上、ホームページに掲載し

				<p>ていますので、併せてご確認ください。</p>
15	仕様書別紙 1		<p>外部接続用DMZ エリアに当社のシステム連携用サーバ環境を構築することは可能でしょうか。また、その場合は貴院の既存仮想環境か当社調達の物理サーバか教えてください。</p>	<p>質問内「当社のシステム連携用サーバ環境」について、内容の前提が不明確であるため、具体的な回答ができませんが、外部接続用 DMZ エリアへの構築を含め、勤怠管理システムの構成については、仕様書別紙 1 のとおり、総合医療センターの既存仮想基盤上に構築ください。なお、既存仮想基盤上に仮想マシンを追加するためには、機構が共通基盤ネットワークサーバの保守・運用を委託しているユニアデックス株式会社との調整が必要となりますので、別途申し出ていただき、仮想基盤ベンダーの作業費用は、本調達に含めてください。</p> <p>また、当該仮想マシンに導入するソフトウェアについては、当機構で利用している EDR（CrowdStrike）および資産管理ソフト（SKYSEA）が対象です。これらの調達および導入については、基幹システムベンダーである日本電気株式会社（NEC）へ依頼が必要になりますので、別途申し出てください。</p> <p>なお、仕様書別紙 1 については、令和 8 年 1 月 30 日付で内容を修正の上、ホームページに掲載していますので、併せてご確認ください。</p>

16	仕様書別紙 1		院内端末からDMZ エリアの連携サーバへデータ転送や画面操作は可能でしょうか。また、通信ポート制限等のセキュリティポリシーがあれば教えてください。	院内端末から DMZ エリアのデータ連携用仮想サーバに対してデータ転送や画面操作を行うことは想定しておりません。
17	仕様書別紙 1		DMZ エリアとVPN 接続先DC 間通信において、通信ポートや一方方向通信などのセキュリティ制限はありますか。	DMZ エリアと VPN 接続先 DC 間の通信については、当該システムの運用に必要な通信のみに制限してください。
18	仕様書別紙 1		院内からのインターネット接続に使用するグローバルIP アドレスは固定でしょうか。	お見込みのとおりです。
19	仕様書別紙 1		IP-VPN は貴院指定ネットワークでしょうか。閉域網であれば種類を問わない認識でよいでしょうか。	IP-VPN について、通信事業者やプロバイダー等の指定はしておりません。ただし、安定性やセキュリティ面を考慮し、本システムの運用に適した回線を使用してください。
20	仕様書別紙 1		院内からインターネットへ直接アクセス可能な環境はありますか。ない場合、専用回線敷設やWiFi ルータの設置は可能でしょうか。	院内の医療系および事務系端末は、セキュリティ上、直接インターネットへの接続は認めておりません。仕様書別紙 1 のとおり、院内端末は仮想ブラウザ (SCVX) でインターネットに接続します。なお、仕様書に記載のない専用回線の敷設や WiFi ルータの設置は想定しておりません。 なお、仕様書別紙 1 については、令和 8 年 1 月 30 日付で内容を修正の上、ホームページに掲載していますので、併せてご確認ください。
21	仕様書別紙 1		連携部の回線費用などランニング費用も見積範囲でしょうか。	連携部に係る回線費用等のランニング費用についても、見積範囲に含めてください。

22	(様式1)仕様書要件 具備確認表		No.42 の遡及処理はどこまで必要でしょうか。また、勤 怠・給与双方で修正する運用で問題ないでしょうか。	原則として、業務上必要な遡及処理はすべて対応 いただくものとします。  なお、人事給与システム側の修正については、勤 怠管理システムにて修正したデータを連携させ ることで対応しますので、人事給与システムに対 し個別に直接の修正を行う運用は想定していま せん。
23	提案書等作成・提出 書類	P.1 1. 作成要領 (1) 提案書等として提出 する資料の種類 ②仕様書要件具備確認表 (様式I)	「仕様書具備要件確認表 (I-1)」は「(様式1) 仕様書要 件具備確認表 (対応表シート)」のことでしょうか。	お見込みのとおりです。
24	提案書等作成・提出書 類	P.1 1. 作成要領 (1) 提案書等として提出 する資料の種類 ②仕様書要件具備確認表 (様式I)	「サービスレベル (案) 対応確認表 (I-2)」は「(様式 1) 仕様書要件具備確認表 (サービスレベルシート)」の ことでしょうか。	お見込みのとおりです。
25	業務委託契約書 (案)	全般	本資料に記載の契約内容については別途、内容協議を行っ た後に正式契約とさせていただき認識で問題ないですか。	お見込みのとおりです。
26	業務委託契約書 (案)	第6条	成果物については弊社標準フォーマットでのご提示で問題 ないですか。	お見込みのとおりです。

27	業務委託契約書（案）	第8条	実績報告書については弊社標準フォーマットでのご提示で問題ないですか。  （他、提示する報告書全般も同様）	お見込みのとおりです。
28	サービスレベル（案）	2-14、15、16 信頼性-ウイルス対策管理	ウイルス対策ソフトの調達は本入札の対象に含まれるのでしょうか。	ウイルス対策ソフトの調達については、原則として本入札の対象です。
29	サービスレベル（案）	2-17 信頼性-セキュリティホール-セキュリティホール対策	「開発部門」とは貴院側を指すのか、当社側を指すのか教えてください。	貴社の開発部門を指します。
30	サービスレベル（案）	対応可否	サービスレベル（案）の「◎・○・△・×」の意味・基準を教えてください。	サービスレベル（案）の「◎・○・△・×」の区分は、以下のとおりです。 ◎：パッケージ標準機能で対応できる場合 ○：カスタマイズで対応できる場合 △：代替機能で対応可能な場合（「備考」欄に対応方法を記入） ×：対応不可の場合